

「職・住・学・遊」の複合機能を備えた 未来型の国際業務都市

【現況】～ 日々約23万人が活動するまち ～

「職」就業者 約 61,000人

「住」居住者 約 30,000人

「学」就学者 約 12,000人

「遊」来訪者 約117,000人／日

⇒年間来街者 約 4,300万人

(※数値はいずれも令和6年4月調査時点)



○ビジネスエリア

- ・ 国際的な業務機能、本社機能、先端産業の研究開発機能等が集積するエリア
- ・ 15棟のオフィスビルが立地
- ・ 約600社の企業が活動し、約4万人が就業



ビジネスエリア

○幕張メッセ（開業：平成元年10月）

- ・ 国際展示場・国際会議場・イベントホール
の3施設で構成される、複合コンベンション施設
- ・ 総展示面積：約75,000m²
- ・ 催事件数：812件（令和5年度）
【参考】903件（令和元年度）
- ・ 来場者数：466万人（令和5年度）
【参考】698万人（令和元年度）
- ・ 催事の一例：東京ゲームショウ、東京オートサロン、
CEATEC、Interop Tokyo
SUMMER SONIC



幕張メッセ



○タウンセンター地区

- 「魅力的でにぎわいのある街づくり」がコンセプト
- 飲食、物販やサービス等の多様なテナントを有する12施設が立地
- 7棟のホテル（総客室数は3,472室）が立地する一大ホテルゾーンを形成
- 「JR海浜幕張駅」の駅前広場では、イルミネーションが開催される等、賑わいを創出するイベントでも活用
【参考】イベントの一例：・スイス・クリスマスマーケット
・ラテンフェス



海浜幕張駅（南口）「マクハリイルミ」 スイス・クリスマスマーケット2022



三井アウトレットパーク幕張



○文教地区

- 教育・研究・研修機能 が集積する学究の街
- 幕張新都心の中でも、最も早くから整備が進められた地区
- 9校の教育機関が集積し、就学者は約1.2万人
【参考】大学：4校
専門学校：1校
高等学校：3校（内、2校が中学校併設）
インターナショナルスクール：1校
- 7つの研修施設が立地する多様な人材育成の場、国際交流の場



ジェトロ・アジア経済研究所



高度ポリテクセンター



神田外語大学



○幕張ベイタウン

- ・ 住棟を街路沿いに配列した沿道型建築であり、各住棟は中庭（パティオ）を囲むよう設計
- ・ 総展示面積：約 7 5, 0 0 0 m²
- ・ 居住人口：約 2.5 万人
供給戸数：約 9, 4 0 0 戸



幕張ベイタウン



幕張ベイパーク（完成イメージ）



○幕張ベイパーク

- ・ 文教未利用地に居住機能等の集積を図るため、平成 2 2 年 7 月に「若葉住宅地区」とした
- ・ 6棟のタワーマンションを中心としたオフィス・商業等の複合機能を備えた街づくりが進行中
- ・ 計画人口：約 1 万人
計画供給戸数：約 4, 5 0 0 戸
- ・ 令和元年 3 月に「クロスタワー&レジデンス」への入居を開始し、街開きを迎えた
【参考】令和 6 年 2 月～ 3 棟目のタワーマンションへの入居開始
令和 6 年 9 月～ シニアレジデンスの入居開始
- ・ 近隣で病院や小学校の整備が進む

○幕張海浜公園

- ・「みどりと海のシティパーク」をテーマとした公園
- ・ 総面積：約72 ha
- ・ 主な施設として、大芝生広場の他、日本庭園「見浜園」や茶室「松籟亭」、人工海浜の「幕張の浜」等を有する
- ・ 「ZOZOマリンスタジアム」や「JFA夢フィールド」が立地
- ・ これまでに多様なイベントが開催
【参考】イベントの一例：・幕張ビーチ花火フェスタ（幕張の浜）
・レッドブル・エアレース千葉（幕張の浜）



幕張ビーチ花火フェスタ



レッドブル・エアレース



見浜園



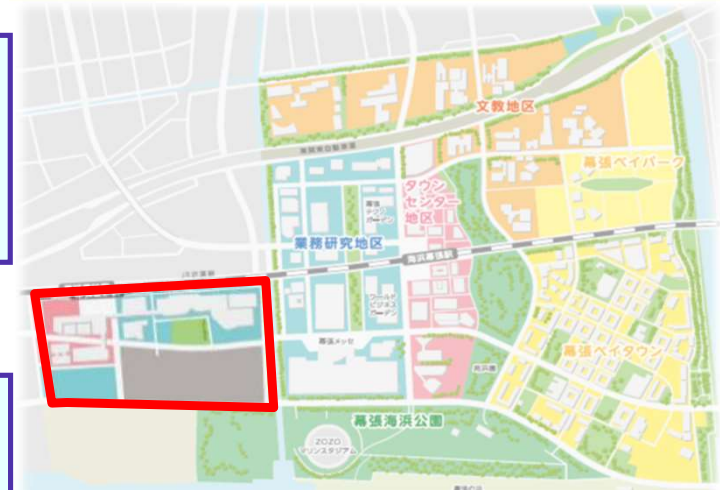
ZOZOマリンスタジアム



- ・ 豊砂地区(千葉市)、芝園地区(習志野市)で構成
- ・ 幕張新都心中心地区を補完し、さらに発展させる位置づけの地区

○豊砂地区

- ・ 「イオンモール幕張新都心」等の商業施設が進出
- ・ 最先端医療施設も立地
- ・ 「豊砂公園」では、パークマネジメント事業を実施。また、遊具広場をリニューアル（令和4年4月）
- ・ 幕張新都心内2つ目の駅として『JR幕張豊砂駅』が開業（令和5年3月）
- ・ 豊砂地区では初のホテルが開業（令和6年3月）



イオンモール幕張新都心



豊砂公園（台湾祭の様子）



東京ベイ先端医療・幕張クリニック

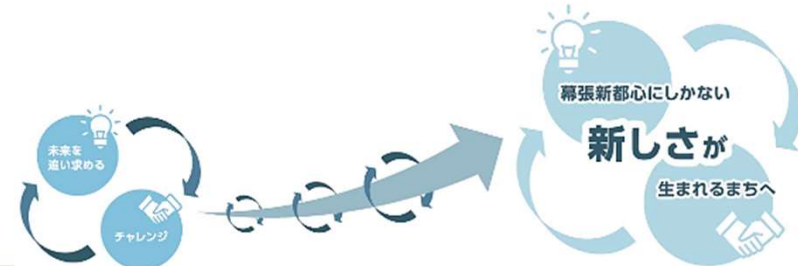


JR東日本ホテルメッツ プレミア



- これまでの30年間のあゆみを踏まえ、**概ね20～30年後の将来を見据えたまちづくりの方向性**を示す構想を令和4年8月に策定
- 幕張新都心が発展し続けるため、まちづくりの方向性を示し、**多様な関係者とみんなで共有するための指針**

まちづくりの理念
**未来を追い求めてチャレンジを繰り返し、
ここにしかない新しさが生まれるまち**



まちづくりの方向性

- 7つのまちづくりの方向性を示し、幕張新都心のありたい姿の実現を目指します
- 7つのまちづくりの方向性を踏まえ、各主体が積極的に取り組むとともに、連携・協働の好循環により取り組みを推進します

■ これまで幕張新都心らしさを構成してきた「職・住・学・遊」に関する4つのまちづくりの方向性

1. 「職」に関すること

まち一体となって新たなコト・モノを生み出し続ける環境をつくり、産業活動の拠点として成長する

2. 「住」に関すること

ライフスタイルの多様化に対応した、魅力的な住環境を築く

3. 「学」に関すること

多様な活動主体が刺激的で先進的な学びを得られる環境を創出する

4. 「遊」に関すること

地域資源を磨き、人を惹きつけるまちの魅力を高める

■ これからの幕張新都心らしさをより高める「連携」に関する3つのまちづくりの方向性

5. 柔軟な活用・回遊性に関すること

既存資源を柔軟に活かし、つなげることで、各エリアの融合を促進し一体感を醸成する

6. 市民参加に関すること

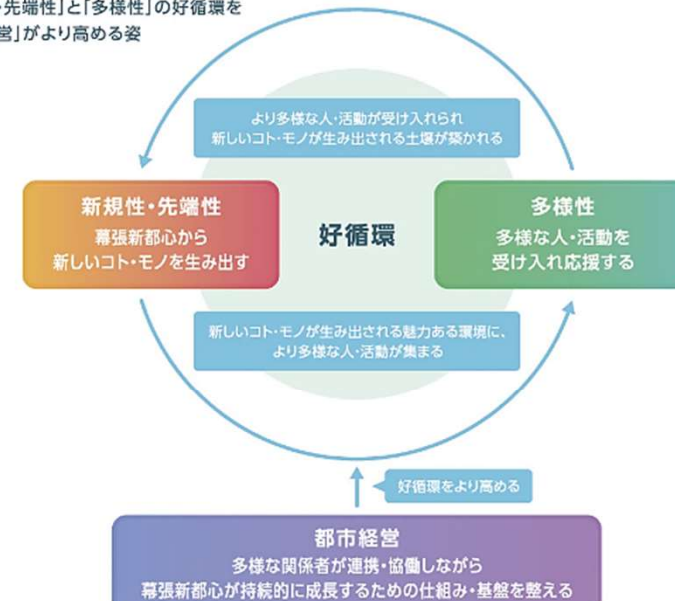
住民・企業など多様な関係者が手を取り、幕張新都心の文化を培い、誇りを醸成する

7. 基盤・持続可能性に関すること

誰もが幕張新都心で安心して暮らせるまちをつくる

幕張新都心のありたい姿

まちづくりの理念に基づき、重要となる3つの要素を「新規性・先端性」「多様性」「都市経営」とし、「新規性・先端性」と「多様性」の好循環を「都市経営」がより高める姿



幕張新都心が発展していくまちであり続けることが千葉市全域の活性化を牽引するとともに、その効果を千葉県・東京圏へ広く波及させていく



Yoshio Yoshida / X Games

アクションスポーツの国際競技大会
「X Games Chiba 2024」



国内最大級の都市型フェス「SUMMER SONIC 2024」



日本を文化芸術のグローバル発信拠点へ「MUSIC LOVES ART 2024 -MICUSRAT-」



幕張海浜公園Bブロックの魅力向上「民間活力導入による再整備」を予定



電動アシスト自転車を活用した
シェアサイクル事業

中心地区
エリアマネジメントの
検討会



トップクラスのトレーニングセンター・地域交流拠点
「高円宮記念JFA夢フィールド」



幕張海浜公園(A・B・Cブロック)

Aブロック拡大図

アリーナ建設を
検討しているエリア

幕張海浜公園 Aブロックにおけるアリーナ建設の検討



混雑緩和、交通機能分散、回遊性向上に寄与する「幕張豊砂駅」



「とよすなうみかぜ広場」など
民間主体によるパブリックスペースの整備



居心地がよく歩きたくなるまちづくり「豊砂ウォーカブル推進社会実験」



医薬品を運ぶドローン

配送ロボット連携による個宅配送を実証する
「ドローンの実証実験」



海浜幕張駅前

デジタルツインの活用による
「自動運転の実証実験」

仮想空間上に再現した幕張新都心



365日楽しめ、まちの社交場となる「マリンスタージアムの再整備」